

安全報告書

2026年

伊予鉄バス株式会社

IYOTETSU

目 次

1. 基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
 「運転安全規範」綱領
2. 当社の安全管理体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
 (1) 組織図
3. 2026年度安全目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
 (1) 各管理者の役割
 (2) PDCA サイクルによる安全マネジメント体制の構築
4. 2025年度の事故等の発生状況・・・・・・・・・・P3
 (1) 2025年月間安全目標
 (2) 重大事故発生件数
 (3) インシデント（事故の兆候）
 (4) 行政指導等
5. 輸送の安全確保のための取組み・・・・・・・・・・P4
 (1) 安全に関する投資
 (2) 教育訓練
 (3) EVバスに関する投資
 (4) 訓練研修
 (5) 事故再発防止対策
 (6) テロ・バスジャック対策
 (7) 感染予防対策
 (8) その他
6. 輸送の安全に関する内部監査について・・・・・・・・P28
 (1) 監査目的
 (2) 実施者
 (3) 実施内容
 (4) 監査結果
7. 安全管理規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・P29
8. 安全報告書へのご意見に対する連絡先・・・・・・・・P29

1. 基本方針

バス事業においてはバス運転安全規範を定め、以下の綱領を安全意識における軸として「安全輸送の確保・絶対無事故」に取り組みます。

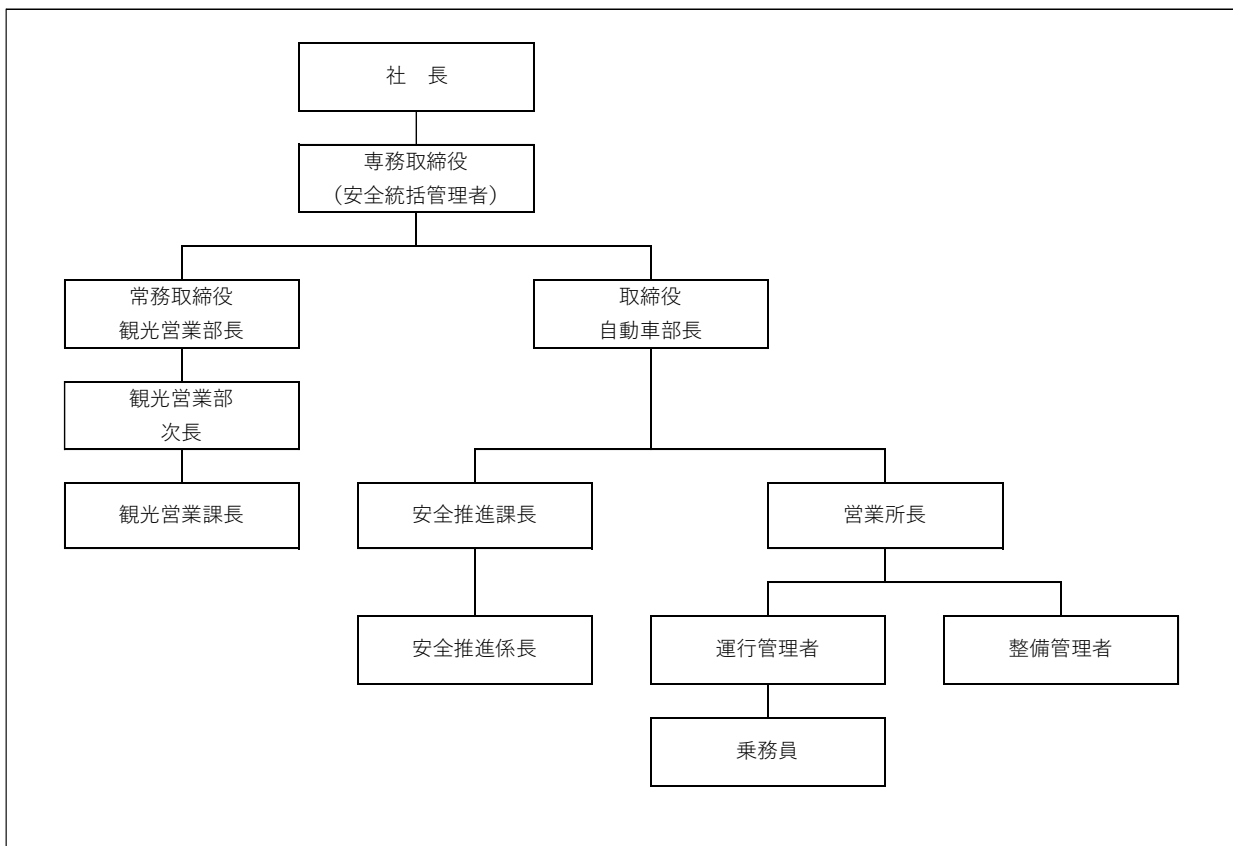
【運転安全規範】綱領

1. 安全は輸送業務の最大の使命である。
2. 安全の確保は規程の厳守から始まり不断の修練によって築きあげられる。
3. 確認の励行と連絡の徹底は安全の確保に最も大切である。
4. 安全確保のためには職責をこえて一致協力しなければならない。
5. 疑わしいときは手落ちなく考えて最も安全と認められるみちを採らなければならない。

2. 当社の安全管理体制

平成18年10月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとした安全管理組織を構築し運用しております。

(1) 組織図



※安全統括管理者：専務取締役 竹中由紀夫

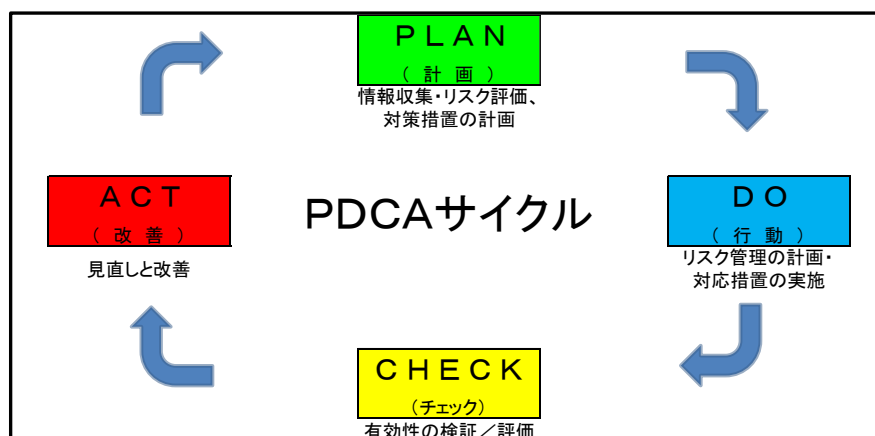
(2) 各管理者の役割

代表取締役社長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
専務取締役 (安全統括管理者)	輸送の安全確保に関する業務を統括する。
常務取締役 観光営業部長・次長	安全統括管理者を補佐し、貸切バスに関する事項を統括する。
取締役 自動車部長	安全統括管理者を補佐し、自動車部に関する事項を統括する。
各課長	安全統括管理者の指揮の下、安全に関する事項を統括する。
各営業所長	担当バス路線に関する事項を統括する。

3. 2026年度安全目標

(1) PDCAサイクルによる安全マネジメント体制の構築

経営トップから現場の従業員に至るまで全員が一丸となって「安全、安心、信頼されるバス」を目指し、「計画・行動・チェック・改善」を継続して行い、安全性の向上を図る安全マネジメント体制を構築しています。また、事故惹起者に対しては、管理部門と現場が合同で再発防止のための検証会を実施しており、共有が必要な事故やヒヤリハットについては全乗務員がそのドライブレコーダーの映像を閲覧しています。



(2) 2026年度月間安全目標

2.月間安全目標

2026年 自動車部 月間安全目標	
月	安全目標
1月	離席時の「パーキングブレーキの指差し確認」80%以上
2月	バス停・信号発車時の「発車します」完全実施
3月	二輪車追い越し時の「2m以上安全確認」完全実施
4月	「ドアが開いてから席をお立ち下さい」案内の完全実施
5月	
6月	バス停発車前の「3秒間・車内安全確認」完全実施
7月	
8月	左折時の「一時停止・安全確認」実施80%以上
9月	後退時の「指差し確認」完全実施
10月	「片手運転しない」完全実施
11月	乗降中に「ドア操作レバーに触れない」完全実施
12月	離席時のパーキングブレーキ「指差し確認」80%以上

4 2025年度の事故等の発生状況

2025年度における四国運輸局への届出等は下記の通りです。

(1) 重大事故発生件数

目標件数	発生件数	死傷者（内死亡者）
0件	2件	2名（1）

(2) インシデント（事故の兆候）

四国運輸局へのインシデント報告はありませんでした。

(3) 行政指導等

行政指導等の処分はありませんでした

5. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全に関する投資

①バス車両

ヒヤリハットや事故情報の集約や情報共有に有効であるドライブレコーダーを全車両に導入しており、貸切バス車両には赤外線カメラを増設しております。カメラで取得した映像は、全運転士に対する安全指導に活用しております。

近年導入した高速バス・貸切バス車両については、衝突被害軽減ブレーキシステムや車線逸脱警報装置等を装備した先進安全自動車（ASV）となっており、旧型車両については、後付安全装置としては初めて世界基準をクリアした「モービルアイ」（衝突と車線逸脱を未然防止する警報装置）と、「居眠り検知装置」の装着を進め、ハード面での安全措置を実施しております。

【ドライブレコーダーの映像】 ※デジタルタコグラフ機能付き



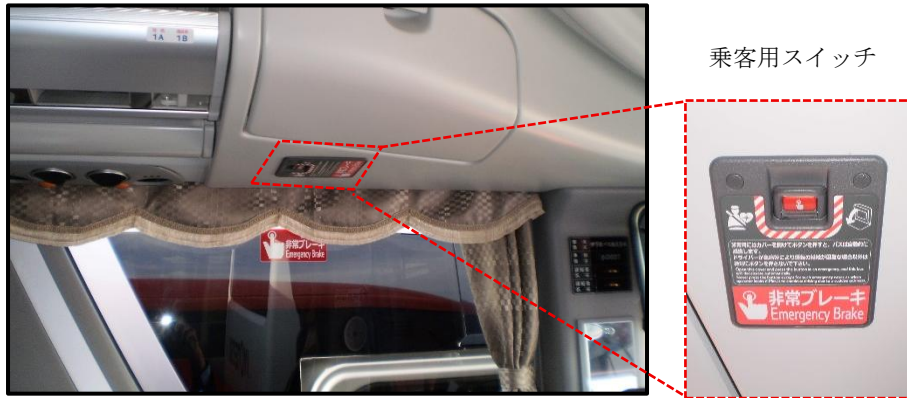
【先進安全自動車であることの車体への表示】

■高速バス・貸切バス

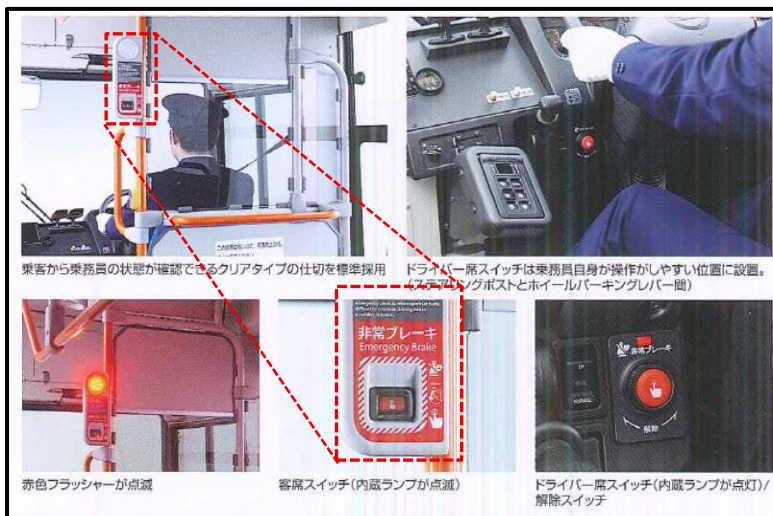


【ドライバー異常時対応システム (EDSS)】

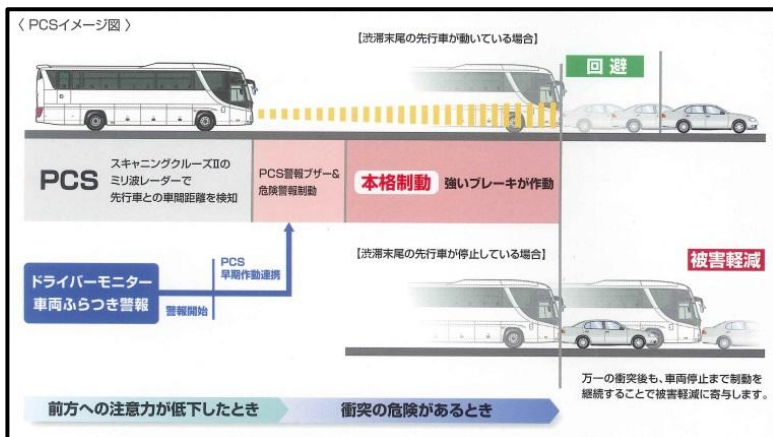
ドライバーに急病等異常が発生した場合に、ドライバー自身又は乗客がスイッチを押すことで、車両が制動をかけるシステム。



■一般路線バス



【衝突被害軽減ブレーキシステム】



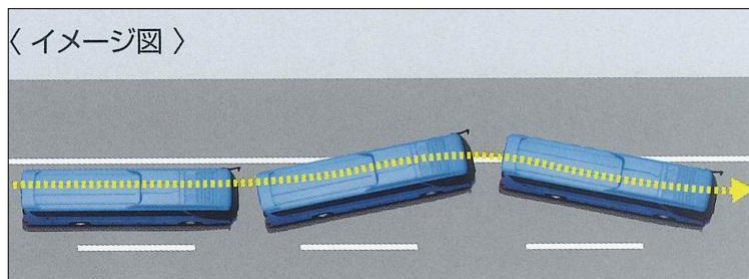
【車線逸脱警報装置】 車線からの逸脱を検知し警告



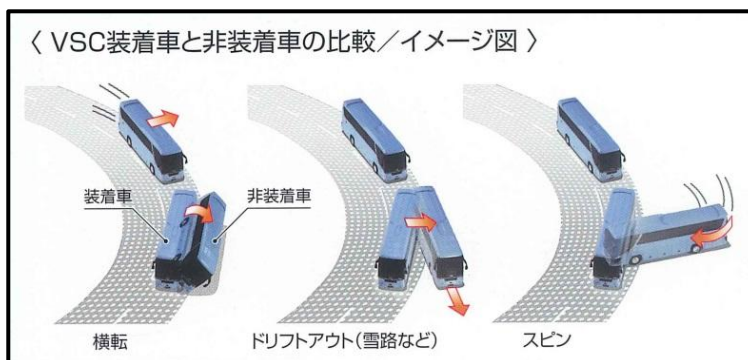
【ドライバーモニター】 顔や眼の状態から注意力低下を検出し警告



【車両ふらつき警報】 車両のふらつきを検出し警告



【車両安定制御システム】 滑りやすい路面やカーブでの危険回避補助



【営業所設置のアルコール検知器】



【携行型アルコール検知器および画像送信用モバイル・スマートフォン】



【適性診断・運転士一般診断（ナスバネット）】



- ① 教育訓練用の機器として、同業他社への視察を参考に「アイマーク・レコーダー」を導入し、乗務員の安全確認指導を強化いたしました。この「アイマーク・レコーダー」は、運転中に視線がどこを見ているかを記録することが可能な装置で、乗務員に装着し実際に運転する路線を走行させることで、運転者の特性や癖を知ることで安全意識の向上に繋がっています。また、右左折時に車両の内側の安全確認や、反対方向の後方のオーバーハングの振り出し確認を確実にしているかを記録された画像を見ながら、本人への指導が可能となり、事故削減へとつなげてまいります。

【アイマーク・レコーダー】



【実際記録された運行画面】



【モービルアイと居眠り検知装置】



- ② 飲酒運転の絶対撲滅のため、全営業所においては精度の高いアルコール検知器を使用した確実な対面点呼を実施し、対面点呼が実施できない高速・貸切バス運行時の遠隔地においては、携行型アルコール検知器による検査画像をスマートフォンで送信することにより厳正な検査を行っております。更には、宿泊先への抜き打ちアルコール検査を実施することで、遠隔地での飲酒自体の防止にも努めております。
- ③ また、インターネットで運転適性診断が可能なナスバネットを営業所内に設置することにより、定期的に全運転士が受診し、自身の運転に対しての見直しを行い、より一層の安全運転意識の向上を図っております。更に、勤務中における運転士のスマートフォン操作を防止するため、緊急連絡用の携帯電話等を配備し、私物に関しては車内持ち込み禁止としております。

(2) 教育訓練

運転士に対して入社時の新人研修から始まり、その後3ヵ月・6ヶ月・1年講習、高速バス講習、貸切バス講習と段階的な講習を計画しております。また、毎年定例の訓練として、運転士全員に対して年2回の事故防止・接遇訓練を実施しており、2025年度の上期と下期に「コンプライアンス研修、事故防止訓」また「実設訓練」では危険予知訓練・オーバーハングの振り出し訓練・非常扉の開閉訓練・車椅子の取り扱い・ナットの緩み体験や、コンプライアンス教育を中心に訓練いたしました。

2025年度上期訓練では、初めての運転技術コンテスト「車両間隔コンテスト」も実施し、運転技術向上へのモチベーションを上げる機会となりました。

運行管理者に対しては、法令で定められている2年に1度の一般講習受講義務を上回る毎年受講をさせており、常に安全意識の高揚を図っております。

また、年末年始の輸送等に関する安全総点検、春と秋の全国交通安全運動、当社独自で定めております運転事故撲滅週間（9月21日～9月30日）においては、点呼時における安全宣言の実施等、事故防止の取組みをより一層強化しております。

輸送の安全に関する投資の実績額

(単位：千円)

項目	実績額	実績詳細
教育・研修等	250	コンプライアンスセミナー 事故防止訓練（年2回）など
健康対策	2,758	定期健康診断・ストレスチェック 眼科ドック・脳ドック・SAS・熱中症予防
車両更新他投資	659,149	車両更新(高速・貸切・EV) など
合計	662,157	

2025 年度[上期] 教育訓練 計画表

No.1

計画 No.	教育訓練の名称	実施 月	受講 者数	新規 継続
1	一般適性診断	4~9	30	継続
2	運行管理者一般講習	4~9	20	〃
3	高速バス神戸線路線講習	4	4	〃
4	高速バス高知線路線講習	4	2	〃
5	高速バス高松線路線講習	4	1	〃
6	高速バス大阪線路線講習	5	4	〃
7	高速バス徳島線路線講習	5	4	〃
8	ボイスレコーダー録音調査	5・6	7	〃
9	運行管理者基礎講習	6	2	〃
10	高速バス岡山線路線講習	6	1	〃
11	ガイドラインセミナー	7	2	〃
12	リスク管理セミナー	8	2	〃
13	高速バス徳島線路線講習	7	3	〃
14	高速バス高松線路線講習	7	2	〃
15	運行管理者試験	8	2	〃
16	高速バス徳島線路線講習	8	3	〃
17	高速バス高松線路線講習	8	2	〃
18	事故防止訓練	9	250	〃
19	衛生管理者講習	9	2	〃
20	高速バス神戸・京都線講習(2日)	9	4	〃

2025 年度[下期] 教育訓練 計画表

No.1

計画 No.	教育訓練の名称	実施 月	受講 者数	新規 継続
1	一般適性診断	10～3	57	継続
2	運行管理者一般講習	10～3	20	〃
3	高速バス高知線路線講習	10	4	〃
4	高速バス高松線路線講習	10	2	〃
5	運行管理者一般講習	10・11	34	〃
6	高速バス岡山線路線講習	11	4	〃
7	内部監査セミナー	12	3	〃
8	高速バス福山線路線講習	12	1	〃
9	高速バス高松線路線講習	12	1	〃
10	運行管理者基礎講習	1	2	〃
11	高速バス岡山線路線講習	1	3	〃
12	高速バス高知線路線講習	1	3	〃
13	高速バス神戸線路線講習	1	4	〃
14	接遇・事故防止訓練	2	250	〃
15	高速バス高知線路線講習	2	2	〃
16	高速バス岡山線路線講習	2	3	〃
17	高速バス高松線路線講習	2	1	〃
18	運行管理者試験	3	2	〃
19	現業監督研修	3	21	〃

【外国人運転士講習】

2025年9月18日入社 ベトナム出身運転士（2名）



【新人運転士講習】



【貸切初任運転士講習】

貸切初任運転者に対する安全運転の実技指導（2025年）			
実施日程	ルート	添乗者による実技指導の具体的な内容	添乗者の指導歴
2025年6月15日	松山室町営業所～亀老山展望台駐車場～道の駅よしうみいきいき館～広島空港～広島駅新幹線口バス乗降所～平和公園貸切バス待機場～宮島SA～来島海峡SA～松山室町営業所	<ul style="list-style-type: none"> ・前方車両の2.3台前に目線を置き車間距離に注意をするように指導をしました。 ・高速出口付近から減速するのではなく早めの減速でフットブレーキを使い過ぎないように指導しました。 	【安全推進係長】 安全推進課係長2年 運転歴17年 【指導員】 指導歴8年 運転歴23年
車種区分			
愛媛200か5637 貸切大型車両			
実施日程	ルート	添乗者による実技指導の具体的な内容	添乗者の指導歴
2025年7月23日	松山室町営業所～松山斎院営業所～鳥ノ木団地前バス停～喜多灘休憩所～ローソン長浜～道の駅伊方きらら館～三崎港はなはな～ローソン長浜～喜多灘休憩所～松山室町営業所	<ul style="list-style-type: none"> ・車線変更時に無駄にハンドルをきらないように指導をしました。 ・下り坂のオーバースピードに注意し、シフトダウンと排気ブレーキを活用するように指導をしました。 	【安全推進係長】 安全推進課係長2年 運転歴17年 【貸切係員】 運転歴26年
車種区分			
愛媛200か5636 貸切大型車両			
実施日程	ルート	添乗者による実技指導の具体的な内容	添乗者の指導歴
2025年9月14日	松山室町営業所～大洲青少年交流の家～みなと～道の駅みま～宇和島市内～道の駅どんぶり館～道の駅なかやまクラフトの里～松山空港～松山斎院営業所～松山室町営業所	<ul style="list-style-type: none"> ・右左折時にはバス車体を伸ばしてからハンドルを操作するように指導をしました。 ・公民館前バス停付近のカーブミラーにリア部分を接触させないように指導をしました。 	【安全推進係長】 安全推進課係長2年 運転歴17年 【運行管理者】 指導歴13年 運転歴28年
車種区分			
愛媛200か5754 貸切大型車両			
実施日程	ルート	添乗者による実技指導の具体的な内容	添乗者の指導歴
2025年9月17日	松山室町営業所～道の駅天空の郷さんさん～岩屋寺～石鎚スカイライン駐車場～御三戸交差点～道の駅天空の郷さんさん～松山室町営業所	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車、バイクを追越する際は2m間隔をあけるよう指導をしました。 ・夜間走行は目が疲れやすく視野も狭くなるため速度に注意するように指導をしました。 	【安全推進係長】 安全推進課係長2年 運転歴17年
車種区分			
愛媛200か5754 貸切大型車両			
実施日程	ルート	添乗者による実技指導の具体的な内容	添乗者の指導歴
2025年9月23日	松山室町営業所～松山市野外活動センター～河野別府公園～砥部動物園～四国水族館～レオマワールド～多度津駅～松山空港～奥道後～松山室町営業所	<ul style="list-style-type: none"> ・狭いカーブでは内輪差に注意するように指導をしました。 ・土器川など狭い橋の上では大型と離合をなしように指導をしました。 	【安全推進係長】 安全推進課係長2年 運転歴17年 【貸切係員】 運転歴14年
車種区分			
愛媛200か5637 貸切大型車両			





【チェーン脱着講習】



【安全運転中央研修】



接遇訓練・事故防止訓練（上期）

- 実施日： 2025年 8月 19日 ～ 10月 28日
- 場 所： 松山斎院営業所 2階研修室および屋外
- 参加者： 全運転士（運行管理者含） 230名
- 内 容：
 - 【座学】
 - ・接遇訓練（映像）「車椅子の取り扱いについて」
 - ・WHILL 社について
 - ・事故発生状況について
 - ・乗客の安全確保するために
 - ・事故発生マニュアルの再確認
 - ・健康管理の重要性
 - ・異常気象時における対処方法
 - ・労働基準法・改善基準告知について
 - ・非常用信号用具、非常口、消火器の取り扱い
 - ・自社の映像を活用した KYT トレーニング
 - ・事故防止対策に関するグループディスカッション
 - ・実設訓練について説明
 - 【実設訓練】
 - ・運転技術コンテスト
 - ・ナットの緩み体験訓練
 - ・車椅子の取り扱い
 - ・非常扉の開閉訓練
 - ・事故発生マニュアルの再確認

【座学研修】



【実設訓練】



接遇訓練・事故防止訓練（下期）

- 実施日： 2026年 2月9日～3月17日
- 場 所： 松山室町営業所 2階研修室および屋外
- 参加者： 全運転士（運行管理者含） 230名
- 内 容： **【座学】**
 - ・コンプライアンス研修
 - ・事故発生状況について
 - ・車内事故防止の現状
 - ・事故防止対策におけるディスカッション（グループワーク）
 - ・非常用信号用具、非常口、消火器の取り扱い
 - ・事故発生マニュアル再確認
 - ・自社の映像を活用したKYTトレーニング
 - ・実設訓練について説明**【実設訓練】**
 - ・オーバーハングの振り出し事故防止訓練
 - ・事故発生マニュアルの再確認

【座学研修】



乗客 乗車所 社員番号: []

◆車内事故防止対策について
(注意すること！・どの様な運転をしますか？)

- ① 乗車時
 - ・ドアが開いたら降りてはダメ
 - ・乗客の乗降(乗客等)
 - ・乗客の乗降を確認してからドアを閉める
 - ・乗客の乗降を確認してからドアを閉める
- ② 発車時
 - ・乗客を確認して発車のアクション
 - ・ドアが閉じた場合は「ドアが閉じた」と確認
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
- ③ 走行中
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
- ④ 減速・停車時
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
- ⑤ 降車時
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車

乗客 乗車所 社員番号: []

◆車内事故防止対策について
(注意すること！・どの様な運転をしますか？)

- ① 乗車時
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
- ② 発車時
 - ・乗客を確認して発車のアクション
 - ・ドアが閉じた場合は「ドアが閉じた」と確認
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
- ③ 走行中
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
- ④ 減速・停車時
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
- ⑤ 降車時
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車
 - ・乗客の乗降を確認して発車

【実設訓練】



（3）EVバスに関する投資

脱炭素社会の実現や環境負荷低減に向けた取り組みとして、EVバスの導入を進めています。

【2026年3月時点 計31台】

また一部のEVバスに設置された電子ミラーによって、夜間や雨天時などの視界の悪い状況でも鮮明に確認ができ視認性が向上しています。

【EVバス】



【EVリムジンバス】



【アラウンドビューモニター】



【電子ミラー】



(4) 訓練・研修

情報伝達訓練

■日時 2025年12月15日(月) 11:00~12:00



南海トラフ地震・津波避難誘導訓

- 日時 2025年 5月 19日(月) 14:00～
- 目的 近い将来に発生が予想されている、南海トラフ地震などの非常事態発生時を想定し、緊急時の連携体制を確認いたしました。
- 概要 一般乗合車両および貸切バス車両全車に導入したIP無線と、バスの位置や運行経路が解るバスナビゲーションシステムを活用した、情報伝達訓練を実施しました。
 運行中に地震が発生した想定で、車両から運行管理者へ被害状況等の報告を受け、運行管理者から関係各所に伝達指示を実施。

【運行管理者】



【安全推進課】



【乗務員】



交通バリアフリー疑似体験研修会

- 実施日： 2026年 3月 6日 13:30～16:00
- 場 所： JR 四国バス 松山支店
- 参加者： 運転士（運行管理者含） 10名
- 目 的 交通バリアフリー対策事業およびバス輸送改善対策事業の一環として、NPO 法人「わおん」の協力を得て、高齢者疑似体験を通して輸送サービスの向上と安全性の確保に努めることを目的とする。
- 内 容：
 - ・老化のメカニズムおよび注意事項の説明
 - ・疑似体験セットを装着し、バスの乗降体験
 - ・認知サポーター研修
 - ・体験後の参加者によるディスカッション

【座 学・類似体験によるバス乗降】



(5) 事故再発防止策

事故惹起者に対しては、添乗指導やドライブレコーダーの映像を使用した事故防止検証会を実施し、再発防止に努めるとともに、その報告書や映像により全運転士に対して情報の共有を図っています。

また、月一回の定例所長会においては各営業所からのドライブレコーダーによるヒヤリハット情報を収集・解析するなど、事故の未然防止にも取り組んでおります。

(6) テロ・バスジャック対策

①対応

緊急時対応訓練等の実施により、発生時の対応について周知しており、繁忙期等の輸送需要が集中する時には、営業所内の巡回を定期的実施するなど、より一層の強化を図っております。

②ポスター、チラシによる注意喚起

主要バス停、営業所等にポスターを掲示し、不審物・不審者を発見した場合の通報についてお客様のご協力をお願いしております。

(7) 感染予防対策

①乗務員は、出勤時に検温（体温測定）および、健康状態の確認を実施。

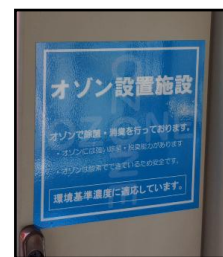
②従業員のマスク着用、手洗い・うがいの徹底。

・マスク着用は本人の希望による。

【抗ウイルス・抗菌剤】



【オゾン脱臭器】



(8) その他

①「Jアラート等によるミサイル発射情報受信時の対応要領」を策定し、万が一の有事にも備えています。

②乗務員の健康管理について

年2回の健康診断の受診に加えて、SASスクリーニング検査及び脳ドック検診、眼科ドックを5年に一度実施しております。

6. 輸送の安全に関する内部監査について

(1) 監査目的

定期的に安全管理体制を自己確認することにより、その課題および問題点を明らかにすることを目的として、毎年実施しております。

(2) 実施者

グループ関連会社 内部監査員

(3) 実施内容

運輸安全マネジメント制度において求められる、輸送の安全に関して展開されるべきPDCA サイクルの確認を主とした監査を実施し、各営業所の安全管理体制を検証いたしました。

●トップインタビュー	2025年 9月 30日
●安全統括管理者インタビュー	2025年 9月 30日
●バス部門内部監査	2025年 12月 04日

(4) 監査結果

安全管理体制が構築されており、組織全体として安全意識の向上が図られているとの評価を受けました。

【トップインタビュー】



【安全統括管理者インタビュー】



【バス部門内部監査】



7. 安全管理規程

[安全管理規程（伊予鉄バス株）](#)

8. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

iyotetsubus.anzen@gmail.com